

光瞳孔反射を指標としたヒトの内因性光感受性網膜神経節細胞の研究

銭場琉天¹, 丸山 裕¹, 高雄元晴²

¹東海大学大学院工学研究科電気電子工学専攻

²東海大学情報理工学部情報科学科

内因性光感受性網膜神経節細胞は網膜において桿体および錐体に次いで見つかった第3の光受容細胞である。内因性光感受性網膜神経節細胞はメラノプシンというタンパク質を含有しており、同細胞における光電変換に関わっていることがわかっている。またこの細胞は、季節性感情障害や片頭痛における光過敏に関わっていることがわかっている一方で、アルツハイマー病やパーキンソン病において大きく減少することが報告されている（高雄 日本頭痛学会誌, 48 : 159—165, 2021）。我々は、ヒトにおいて光瞳孔反射を指標として内因性光感受性網膜神経節細胞の分光波長感度特性についてそのサーカディアンリズムにともなう変化について検討したので研究会当日に報告する。